

## リスキリング総合診断システム開発業務 企画提案書作成要領

広島県が実施する「リスキリング総合診断システム開発業務」委託に係る企画提案公募（プロポーザル）に関し、プロポーザル参加者が企画提案書を作成するために必要な事項は次のとおりとする。なお、提案に当たっては、本業務の目的に沿った企画提案書の作成に留意すること。

### 1 企画提案時の提出書類

- (1) 企画提案書提出届（別記様式第1号）・・・1部
- (2) 企画提案書（任意様式）・・・・・・・・・・・・・・正本1部、副本9部、電子データ（副本）
- (3) 見積書（別記様式第2-1号及び第2-2号）・・正本1部、副本9部、電子データ（副本）

### 2 作成要領

#### (1) 一般事項

ア 用紙は、原則A4判両面使用とし、縦置き横書き（横綴じ）または横置き横書き（上綴じ）とすること。ただし、図表等の表現の都合上、用紙及び記述の方法を一部変更することは差し支えないものとする。

※製本は極力簡易な形式とし、プラスチック素材の表紙等は使用しないことを推奨する。

イ ページ番号は目次を除き通し番号とし、ページ番号は各ページの下部中央に印字すること。

ウ 審査の公正を期すため、企画提案書（添付書類も含む）の副本9部には、会社名、住所、ロゴマークなど、プロポーザル参加者を特定できる表示を付してはならない。

#### (2) 見積書

別記様式第2-1号及び第2-2号により、本業務に係る所要経費をすべて見積もること。  
また、見積りの根拠となった所要経費の明細を明らかにすること。

#### (3) 企画提案書

別紙「仕様書」及び「評価基準」を参考の上、次ページの事項について記載した提案書を作成すること。

項目	記載内容
A 実施方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本業務の目的を理解し、その達成に向けた基本的な考え方、提案コンセプト及び重要ポイントや工夫を具体的に記載すること。</li> <li>・システムの全体像とユーザーへの提供価値を明確にすること。</li> </ul>
B 事業内容	<p>次に掲げる項目に係る提案内容を詳しく記載すること。特に以下の項目は、企業にとっての利便性を踏まえること。</p> <p>(1) システムの形態・技術選定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウド配信型サービスとしての具体的な提供方法、利用技術（開発言語、フレームワーク等）の選定理由と優位性（拡張性、安定性等）を記載すること</li> <li>・対応ブラウザへの対応方針、ドメイン・SSL 証明書手続きにおける県との連携方法を記載すること。</li> </ul> <p>(2) セキュリティ対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ISMS に加え、ISMAP 登録、ISMAP-LIU 登録、ISO/IEC 27017 取得のいずれかの状況、またはそのための計画を記載すること。</li> <li>・全通信の暗号化（TLS 1.2 以上）、SSL/TLS 証明書管理、ブルートフォース攻撃対策、セッション管理機能の実装方針を記載すること。</li> <li>・CSRF、XSS 等の脆弱性対策、情報セキュリティ脅威（不正アクセス、ウイルス等）に対する物理的・人的・技術的対策を記載すること。</li> <li>・脆弱性情報収集、パッチ適用、回避策実施、県への報告体制について記載すること。</li> </ul> <p>(3) システム機能要件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕様書記載の各機能要件を網羅的に提案すること。</li> <li>・各機能の具体的な実現方針、詳細ロジック、画面構成、操作性、連携性を記載すること。</li> </ul> <p>(4) 運用保守体制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕様書記載の各項目（稼働監視、セキュリティ監視、ログ管理等）について、具体的な実施内容、頻度、担当体制を網羅的に記載すること。</li> <li>・システムの安定稼働維持、データバックアップ、システム監視、アラート機能に関する具体的な運用体制を記載すること。</li> <li>・システム障害時の対応体制、復旧計画を具体的に記載すること。</li> </ul> <p>(5) 自由提案事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕様書記載の自由提案事項について、貴社の知見に基づく創意工夫ある提案を具体的に記載すること。</li> <li>・提案内容が本業務の目的達成にどう貢献するか、具体的な効果（定量的・定性的）、実現可能性、導入スケジュール、費用対効果を記載すること。</li> </ul>
C 業務実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本業務と同様または類似するシステム開発実績（実施年度、業務名、概要、発注者、担当範囲等）を具体的に記載すること。特にクラウドサービス開発、セキュリティ対策、ユーザー管理、データ連携実績について詳細に記載すること。</li> <li>・本業務の目的・内容に応じた適切な実施体制（責任者、開発メンバーの専門性、役割分担、人員配置等）を具体的に記載し、業務を確実に実施できることを示すこと。</li> <li>・開発スケジュールは、契約締結日から令和9年3月31日までの期間で、実現可能かつ現実的な工程（開発、実証、リリース等）を具体的に記載すること。</li> </ul>